

あすなろだより

第20号

平成19年2月18日発行

社会福祉法人 松園福祉会
特別養護老人ホームあすなろ園
家族会会長 原田徹雄

倉敷市玉島勇崎1,044番地
電話 086-528-3110
FAX 086-528-3255
E-mail info-a@asunaro.or.jp



浄鏡院能成正導居士 (俗名 中塚正人)

社会福祉法人 松園福祉会

中塚正人理事長 急逝される

平成十九年一月三日、午前
〇時四十六分、中塚正人理事
長(岡山県議)が自宅におい
て心血管障害のため、急逝さ
れた。

平成十九年一月三日、午前
〇時四十六分、中塚正人理事
長(岡山県議)が自宅におい
て心血管障害のため、急逝さ
れた。

平成十九年一月
正五位旭日中綬章を受ける

密葬の日

あすなろ園
園長 虫明 正雄

棺を送り出すとき、
朝から舞っていた粉雪は止んでいました
あなたのそばに集う人々を遠くにして
凍てつくような、控えての横に
あなたを見送る数名の人がいました
あなたが教え、育んだ人たちがです
悲しみまでも、凍らせて固く結んだ口元には
確かな決意を感じました
安心して下さい
この人達が在る限り
「あすなろの」木は「ひのき」を目指して
歩みを止めることはありません

平成二年高齢化社会の到来
により、社会福祉法人「松園
福祉会」を設立。翌平成三年
十一月に特別養護老人ホー
ム・デイサービスセンター
「あすなろ園」を開園し、理
事長を務めた。

これまで長く福祉関係議員
として活躍。特に保育関係で
は、全国的な活動を展開。長
年にわたり日本保育協議会予
算対策委員長を務め、国の保
育関係予算獲得に奔走した。
また、全国保育推進連盟の副
会長(会長は前総理大臣小泉
純一郎)を務め、全国に名実
共に福祉議員として力を発
揮、社会福祉の充実に貢献し
た。平成十年十一月には、

「藍綬褒章」を受章、また二
十三歳から消防団員として、
地域の防災に活躍。長年にわ
たり消防団活動の結果、平成
十四年四月に倉敷市消防団長
(団員約二千人)に就任。逝
去する前の十二月二十八日夜
には、消防団長として、倉敷
市長らと共に全倉敷市内を巡
回。年末特別警戒をする、消
防団員を激励した。

平成九年三月には、消防功
労で「消防庁長官表彰」を受
ける。

このように、中塚正人松園
福祉会理事長は、地域社会に
根差した活動を展開し、
「人々の喜ぶ顔を見るのが好
きな人、であった。」

社会福祉法人 松園福祉会 中塚周一新理事長誕生



略歴

- ◇昭和48年4月14日生まれ(33歳)
- ◇平成4年3月 県立玉島高等学校卒
- ◇平成8年3月 川崎医療福祉大学
医療福祉学部医療福祉学科卒
- ◇平成8年4月 特別養護老人ホーム
若宮園 介助員
- ◇平成10年4月 特別養護老人ホーム
あすなろ園 副園長

資格・役職

- 社会福祉士 介護支援専門員
- 全国社会福祉施設経営者協議会 青年経営者会岡山県副会長
- 社団法人全国老人福祉施設協議会 21世紀委員
- 岡山県認知症介護実践者研修指導者
- 社団法人玉島青年会議所理事 倉敷市消防団員

中塚正人理事長の急逝により松園福
祉会の理事会と評議委員会におい
て、長男の周一氏を新理事長として選
任致しました。

▲中塚周一新理事長

この度の、葬儀、告別式には、多くの皆様がご会葬下さりその上ご厚
志を賜り、ご芳情のほど、心より御礼を申し上げます。本来なら拝
眉の上、御礼申し上げるべきところ、この紙面にて、謹んで御礼申し上
げます。

決意

中塚周一

庭の灯籠に視線をやり考えに耽つた、
身辺が急に慌しくなっていた。
あの時
いつ途絶えるのか、わからないほどの弔
問客の方々、こんなに多くの人々に慕わ
れ、頼りにされていた父、まだやりたい
事が一杯あったのに。
何を聞いても答えてくれない。それが
判っていても、多くの人々が父に話しか
けていました。その場面に立ち会った私
として、座して成り行きを見守ることは
できない。
「起とう」
父が目指した、永遠の「しあわせの
里」をつくるために、それが、どんなに
厳しくとも、「松園」という二文字と、
多くのお年寄りを背に負って行
くことが、私の使命ならば。
今の私には、長い間続けてき
た、父の福祉活動には、とても
及びません。しかし、「福祉」
に対しての情熱は父に後れを取
ると思っておられません。この
決意をご斟酌していただき、父
にも増してのご尽力をお願い致
します。

慟哭

なぜ
あなたはそんなにいそいでい
たのですか。
なぜ
あなたは私達を悲しくさせ
るのですか。
なぜ
神はこんなに残酷なのです
か。なぜ。。。。
心のなかに吹き抜ける木枯
しに耐えています。
しかし
私達には立ち止まることは
許されません。
あなたの教えが私達の心の
中で生きている限り
「和かな顔」で
「和かな心」で
歩き続けま。

哀悼

謹んで、故中塚理事長に
哀悼の文を捧げます。
あすなろ園家族会
会長 原田徹雄

先生は、輝かしい功績を残
されておられますが、更に港
湾機能を生かした玉島の産業
振興、高潮、津波等に対する
危機管理対策、福祉の充実に
目的として県議会活動の集大
成を目指す決意を述べられ
ておられました。
ご遺族、職員の皆様は、ご
遺志に沿って、
災害対策の地域拠点とし
て、
認知症の岡山県下の研究拠
点として、
更なるご尽力をいただけるこ
とと存じます。
仏法にあります
「和顔心」を合言葉に
(しあわせの里) づくりを努
められました先生のご冥福を
お祈りいたします。

編集者
「あすなろだより」
編集委員長 中藤和雄



